

# いのちの言葉2010

富山県教育委員会 平成22年度いのちの教育総合支援事業

## 「今もあらちゃんといっしょ」

(道徳の時間)

高岡市立定塚小学校 4～6学年児童  
平成22年7月7日実施

### 【いのちの先生】

松下 真由美先生  
・スクールソポーター

#### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 いのちの先生の話
- 3 詩の朗読
- 4 いのちのメッセージカードの記入

重度の障害をもって誕生し、13歳で亡くなった息子さんと暮らした日々から、松下先生が学ばれた、いのちのありがたさや生きることのすばらしさを、スライドや息子さんの遺品を見せながら話されました。



#### 児童の感想（5学年児童）

ぼくは今日「生きているだけで、百点満点」という言葉の意味が分かりました。松下先生は、初めは「あらちゃん」のことが恥ずかしいと思っていたけど、「あらちゃん」がいたから会えた人がいたり、できた経験があったりしたので、「あらちゃん」といて幸せだったと言っておられました。「生きているだけで百点満点」という言葉はやっぱり本当だと思いました。

ぼくは、障害があると、つきっきりで介護をしなければならないので、大変だから幸せではないのかなと思っていたけれど、その子がいるだけで親は幸せなのだと感じました。ぼくもそんな存在だといいます。

#### 児童の感想（5学年児童）

松下さんから、天国に行ってしまった「あらちゃん」の話を聞かせていただきました。「あらちゃん」は、生まれつき障害があって、自分で歩けないし、うまく食べたり飲んだりもできず、目も見えませんでした。また、お医者さんからうまく笑うこともできないと言われていたそうです。けれども、お母さんや家族の人たちが温かく支えてくれたから、「あらちゃん」は笑えたのだと思います。

いつも目が見えて当たり前、歩けて当たり前だと思っていたけど、「あらちゃん」の話を聞いて、私たちはとても幸せだと思いました。もっとできて当たり前だと思わないで、できるのは幸せと思いながら生活していきたいと思います。

#### 家族へのメッセージ（6学年児童）

お母さん、私を生んでくれてありがとう。私のいのちは大切なだけあって思えるよ。お父さん、私を今まで育ててくれてありがとう。私のいのちには意味があるのだよね。お姉ちゃん、いつも私の相手をしてくれてありがとう。けんかもしたけど、いつも一緒に笑い合ってくれた。楽しんでくれた。いのちがあるってすばらしいって思えるよ。みんなありがとう。これからもよろしく。